

清水寺ボタン祭り

清水寺ボタン祭りの歴史

清水寺のボタンは、昭和十二、十三年の時には、四千かぶあり、ボタンが咲くたび二万人もの人が訪れる位の人気でした。しかし、第二次世界大戦でボタンが二百かぶに減ってしまいました。戦争で食べ物がなかったため、ボタンを抜き、さつまいもなどの食料を植えました。そのためボタンが減ってしまったのです。昭和十二、十三年は、駐車場と上の畑にもボタンが広がっていたのですが、戦争で減ってしまったので、保科ボタン園復活推進委員会を作り、保科をボタンの里にするため、各家庭から百円を集め、清水寺、保科小学校、若穂団地にボタンを植え、ボタン園を復活させました。昔は各家庭に一個ボタンを植えました。その努力がむくわれ、保科はボタンの里になりました。

→ 清水寺の駐車場にあるボタン



ボタン祭りについて

ボタンの花は、五月の中旬から五月いっぱいまで咲いています。清水寺のボタンは四十種類、七百かぶあります。毎年ボタン祭りは、とても人気で大勢の人が来ます。ボタンはもとも大きな木で、昔の子どもが木登りできる位でした。毎年新しいボタンの木を植え、少しずつボタンを増やしています。ボタンは一週間から十日ぐらいいしか咲かないので、早目にきれいな清水寺のボタンを見に来てください。花に包まれる時間を楽しんでみてください。

見所

見所は「初からす」という黒いボタンが人気が高く、それはふつうのボタンとはちがい、手入れが難しく、珍しいボタンです。七百かぶのうち、約三、四かぶしかありません。咲いて、探してみてください。

↓ 初からす



← 駐車場の向かい側にあるボタン

